

IBM Content Collector for SAP® (ICC)

SAP環境で蓄積された膨大なデータを効率的に管理と検索

SAPの出力帳票や関連文書の管理と検索

ハイライト

- ディスク使用率が下がり、SAPのパフォーマンスが向上
- SAPのGUIからのデータ検索・閲覧もスムーズ
- SAPで作成した帳票が迅速に検索でき、お客様満足度の向上にも貢献
- 電子化された帳票とSAPの元データを紐付けて利用可能

システム上の問題点

蓄積され肥大化し続けるデータはディスク・スペースなどコンピューター資源を食いつぶすだけでなく、パフォーマンス劣化を引き起こし、運用管理を複雑化させてITコストを引き上げます。

業務上の問題点

本来、これらのビジネス・データは、営業活動、マーケティング、生産販売、企業経営に欠かせない貴重な企業資産です。蓄積されたデータが膨大になればなるほど、必要なデータ、報告書、文書を見付け出すのに時間がかかり、業務効率を著しく低下させます。また、他のシステムのデータやアプリケーションと連携させ、データを企業活動に利用するのが困難な状況になっています。

SAP向けの統合アーカイブ・ソリューション

リソースの消費を最小限に抑えながら、企業のビジネス・コンテンツへの高速で便利なアクセスをユーザーに提供します。現在使用していないデータを外部に取り出し保管することによって、SAPデータベース・レイヤーに対する圧迫を軽減して、全体的なSAPのパフォーマンスを改善します。格納されたビジネス・コンテンツは、瞬時に取り戻して電子的に配布できます。これによって、時間と費用が節約され、よりスピーディーかつ正確に、カスタマー・サービスやサプライ・チェーン計画、リアルタイム・データの利用に依存しているその他の機能を推進することができます。

日本国内事例

既存アーカイブ・システムの問題解決のために新システムに移行 運用コストを30%以下に削減

SAPデータのアーカイブ・システムを運用していましたが、SAPのサーバー容量が増えた結果パフォーマンスが低下したことから、アーカイブ項目の見直しを実施し、結果として新システムに移行しました。既存のシステムでアーカイブされたデータも、SAP標準のリトリブ機能を利用して新システムにスムーズに移行しました。

ポイント① ユーザー・インターフェース

既存のシステムでは、3種類の情報をアーカイブしていましたが、SAPのデータベースのデータのアーカイブ、2つ目がSAPから出力される印刷帳票のイメージファイル(PDF形式)のアーカイブ、そして3つ目が紙の文書をスキャンして電子化したイメージ・ファイル(TIFF形式)です。

それぞれのアーカイブされたデータを参照するためには、専用アプリケーションが必要で、複数の参照方法が混在しており、ユーザーの使い勝手が悪い状態でした。

こうした課題を解決するために、SAPの標準インターフェースから直接アーカイブされたデータにアクセスできる新システムに変更しました。使い慣れたSAPのインターフェースから参照できるようになり、ユーザーの利便性が大幅に向上しました。

ポイント② コスト

運用コストが従来のアーカイブ・システムの30%以下になる(移行費用を含めて)ことは、新システム移行への大きな決め手になりました。

ポイント③ 保管メディア

既存のシステムでは、アーカイブ・データの保存先としてDVDメディアを採用していたのですが、そのDVDメディアとそれを管理するDVDチェンジャーの保守サービス期間が終了することが明らかになったのです。また、データを読むことのできないDVDもあり、信頼できる保管メディアへの変更が急務となりました。また、HDDベースのストレージに変更したことで、検索スピードを大幅に改善されました。



SAP データ・アーカイブ

SAPに蓄積されている過去のデータが増大して、パフォーマンスが悪化している。

解決策

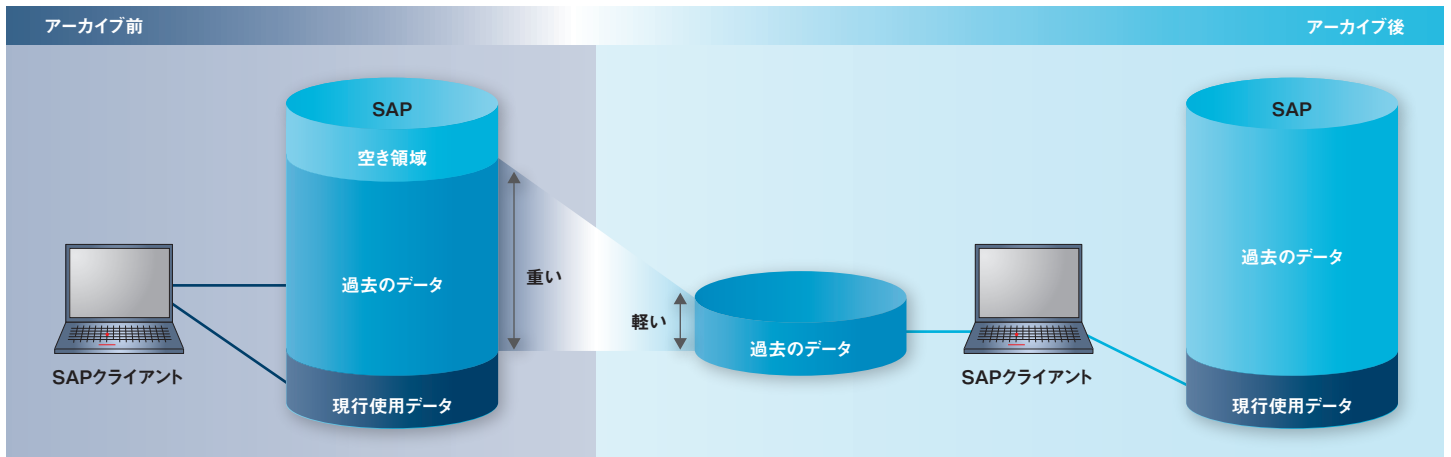
日々の業務に必要となるデータと、参照や分析のために保存された過去のデータを、それぞれ適正に管理することにより、SAPを最大活用することができます。

Before

- 過去のデータがディスクを圧迫し、レスポンスタイムが長い。
- ハードウェア増強にコストがかかる。
- バックアップに時間がかかる

After

- ディスク使用率が下がり、SAPのパフォーマンスが向上する。
- ユーザーは、SAPのGUIから検索・閲覧がスムーズに行える。
- データのサイズが、1/4以上(最大1/5)に圧縮されるので、ハードウェア増強コストを削減できる。
- バックアップなどのシステム管理作業時間が短縮される。



SAP 帳票アーカイブ

SAPで作成する帳票を印刷して保管しているが、探すのに時間がかかる。

解決策

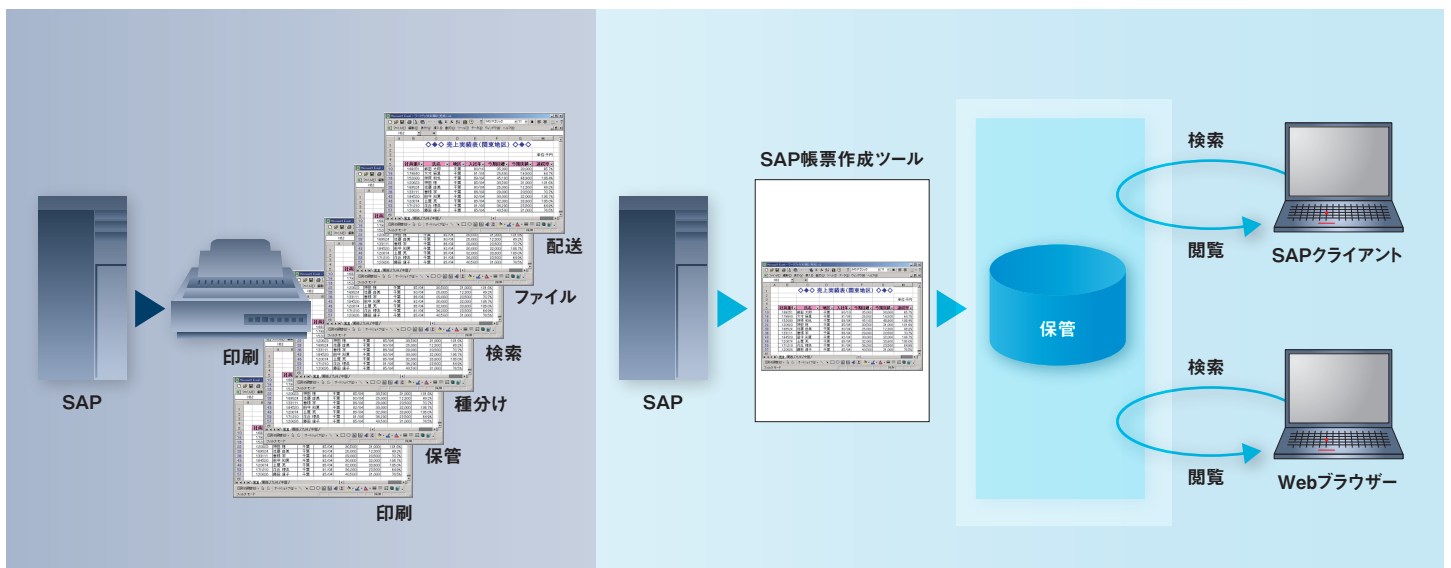
SAPで作成する帳票を電子的に保管。簡単に検索・閲覧でき、業務効率を向上できます。紙への印刷量が激変し、紙、プリンター、保管、ファイル人件費などのコストを簡単に削減します。

Before

- 紙で印刷した帳票を探すのに時間がかかり、お客様を待たせてしまう。
- 印刷費用(プリンター、トナー、紙代)、配送費、種分け・配送・ファイルのための人件費、保管費がかかる。

After

- 必要な帳票を、一発検索でオンライン上に取り出すことができるので、お客様にすぐに対応できる。(お客様満足度の向上)
- 電子化された帳票に、自動的にインデックスを付加して保管するので手間がかからない。
- 電子化された帳票とSAPの元データを、紐付けて利用できる。
- 営業部などの必要部門にタイムリーに情報を提供できる。



SAP ドキュメント・アーカイブ

領収書や請求書など、紙で受け取る書類の処理に手間取っている。

解決策

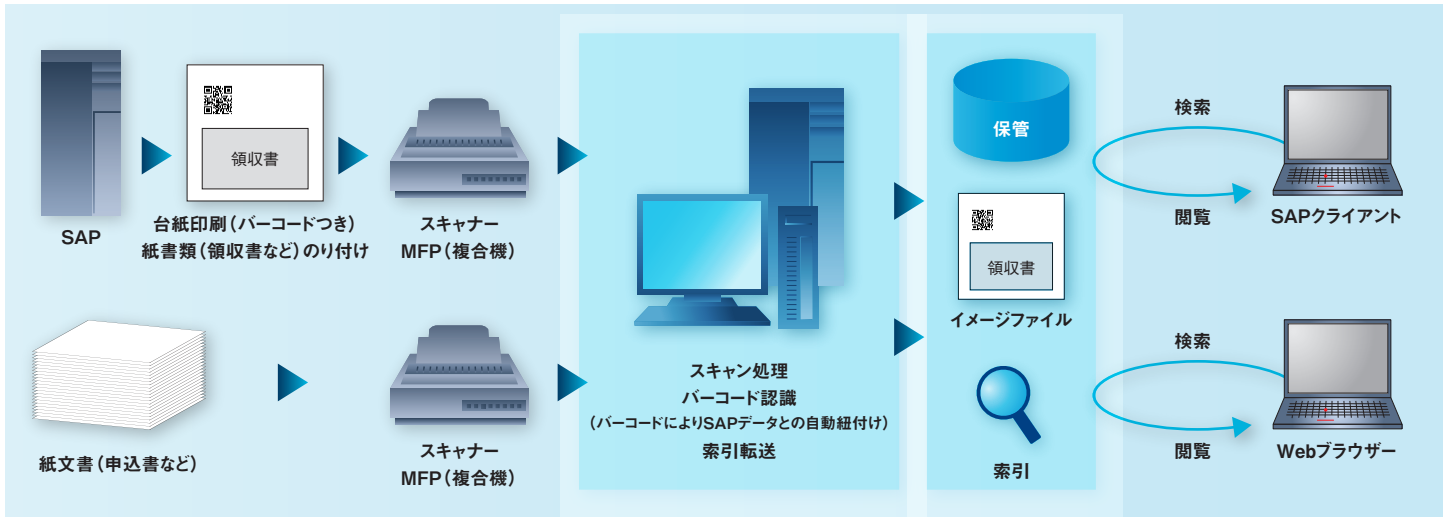
紙で取り扱っている書類を電子化することにより、業務フローをシンプルにします。
コスト削減だけでなく業務効率を向上します。

Before

- 処理業務が紙文書のある場所に依存する。
- 紙で保管している文書の検索に時間がかかる。
- 承認処理が煩雑になり、処理時間が長い。

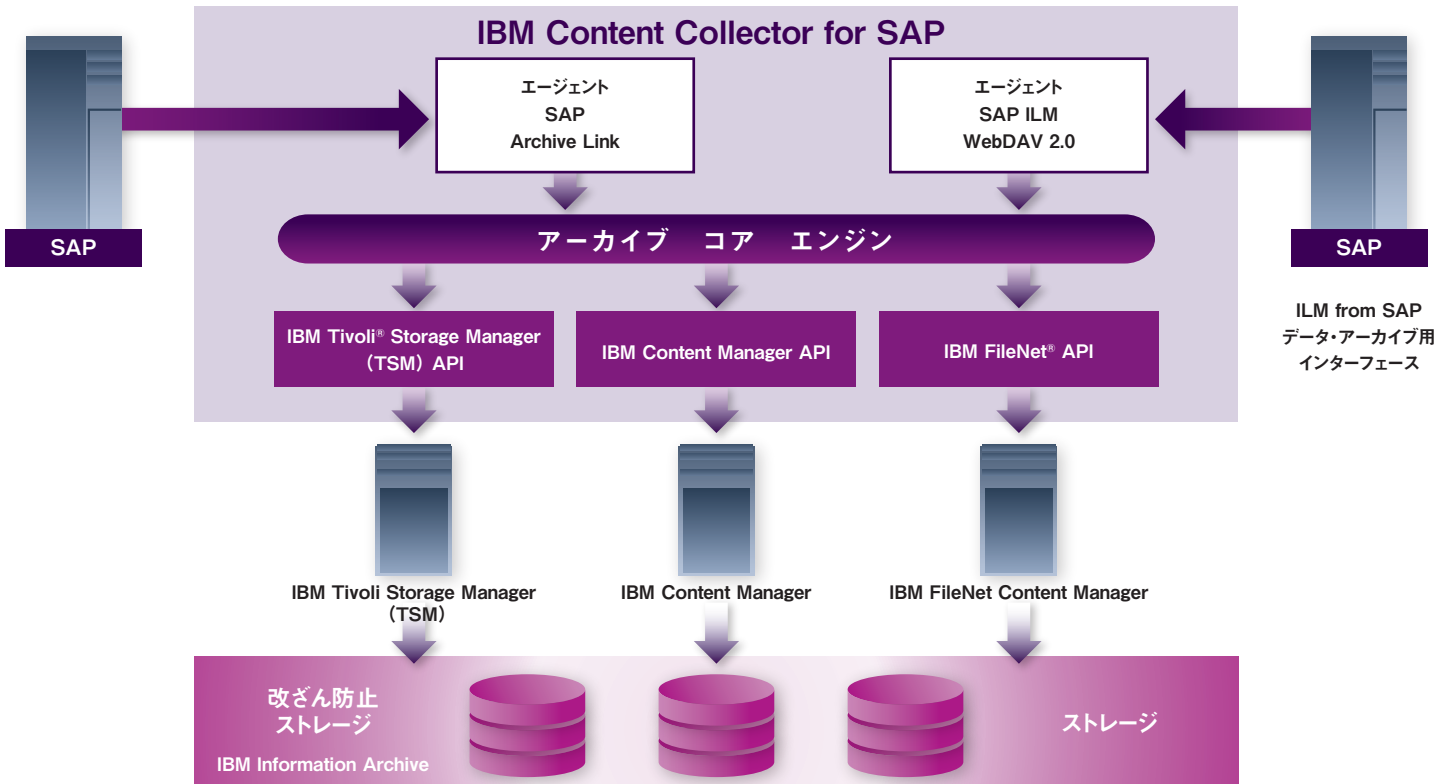
After

- オンラインで業務が可能になる。
- コスト削減と業務効率向上を実現する。
- SAPデータとの紐付けにより、必要な文書を関連づけ検索参照できる。



アーキテクチャー概略

- ILM from SAP アーカイブ用インターフェースをサポート
- WebDAV Storage Interface (BC-ILM 2.0)をサポート (TSM/IBM Information Archive (IIA)を使用)
- IIAに保管期間やアーカイブされたSAPトランザクションの法的規制の設定を移動
- セキュリティーやコンプライアンス機能を提供
- ドキュメント・アーカイブは IBM Content Managerを使用



SAP認定ソフトウェア

IBM Content Collector for SAPは、最新のSAP ArchiveLink™プロトコルに完全準拠した、SAP AGによりCSP(Complementary Software Program)認定を受けたソフトウェアです。

IBM Content Collector for SAP は、IBM CommonStore for SAP (CSSAP)の後継製品です。

SAPアーカイブの詳細については、
ibm.com/software/jp/data/archive/sap-archive.html

Webサイトをご覧ください

SAPアーカイブのお問合せ先
CMoffice@jp.ibm.com



日本アイ・ビー・エム株式会社

〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19番21号

© Copyright IBM Corporation 2010
All Rights Reserved

12-10 Printed in Japan

このカタログの情報は2010年12月現在のものです。内容は事前の予告なしに変更する場合があります。

ご紹介の導入事例は特定のお客様での事例であり、すべてのお客様について同様の効果を実現することが可能なわけではありません。

表示画面の出力例は本カタログ用に作成したもので、実際のものとは異なる場合があります。

仕様は事前の予告なしに変更することがあります。

製品、サービスなどの詳細については、弊社もしくはIBMビジネス・パートナーの営業担当員にご相談ください。

IBM、IBMロゴ、ArchiveLink、FileNet、Tivoliは、世界の多くの国で登録されたInternational Business Machines Corp.の商標です。

SAPは、ドイツおよびその他の国におけるSAP AGの登録商標または商標。

他の会社名、製品名およびサービス名等は、それぞれIBMまたは各社の商標である場合があります。

現時点でのIBMの商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtmlをご覧ください。

掲載されている製品・サービスはIBMがビジネスを行っているすべての国・地域でご提供可能なわけではありません。

IBM製品・サービスの詳細情報については、
IBMホームページ <http://www.ibm.com/jp/>
をご利用ください。

お問い合わせは、IBMビジネス・パートナー、製品販売店、弊社営業担当員、
または、ダイヤルIBM(☎ 0120-04-1992)へ。
受付時間:月～金 9:00～18:00(土、日、祝日、12/30～1/3を除く)
携帯電話等でおかけのお客様は下記の電話番号をご利用ください。
ダイヤルIBM 03-6220-8002(この場合、通話料金はお客様のご負担となります。)